泉北高校高大連携講座 　2018年6月9日（土）13:00～14:30 A棟2階化学実験室

　2年12名　1年8名　計20名

テーマ「化学反応の「舞台」を創る」

講師 松坂裕之 先生（大阪府立大学 理学系研究科）

　現在に至るまでに、世界では様々な種類の化学反応が確認されており、その中には簡単に起こる化学反応もあれば、とても起こりにくい化学反応もあります。しかし、とても起こりにくい反応も、環境を整えてその舞台を用意してあげれば反応を進ませることが可能です。そして、その舞台となるのが触媒です。

今回の高大連携講座には、大阪府立大学理学系研究科から松坂先生に来て頂きました。松坂先生の専門分野は有機金属錯体と呼ばれる、金属を扱った化合物についてです。この錯体と呼ばれる化合物は、反応の舞台となり、とても起こりにくい化学反応を活性化することが可能です。また、実際、どのように化学変化が進行しているのかを知る手がかりにもなります。まずは化学という分野のお話から、高校生向けに分かりやすいようにお話をしていただきました。数年前に日本の理化学研究所が発見した、新しい元素Nhニホニウムは知っていた生徒もいたのではないでしょうか。また、講座の途中では重合反応の様子をみんなで表現するような場面もあり、（まだ学んでいない範囲ではありましたが）少しイメージすることができたのでは、と思います。

最後に松坂先生が仰っていたのは、研究に大事なのは論理立てて物事を考えていくこと。高校生の普段の生活でそれができるのは、やはり授業です。単純に覚えるだけではなく、新しく学ぶ内容をいかに納得して理解できるかが大事だと強調されていました。大学の内容も含まれていて少し難しいお話もあったかもしれませんが、今後の進路を考えるひとつのきっかけになれば、と思います。



